



ニッカウヰスキーの紋章と山中鹿介

この紋章は、ニッカウヰスキーの創設者「竹鶴政孝さん」がスコットランドや英国の紋章を参考にして考案されたものです。

魔よけの印でもある狛犬、中央の兜は山中鹿介が使用した兜をあしらったもので武芸を意味しており、NIKKAの文字周辺の元禄模様は文化を表しています。

これは「竹鶴政孝さん」がスコットランドに留学したとき、王室に献上するウイスキーのエンブレムにライオンとユニコーンが描かれたのを見て、そこからヒントを得てデザインを考えられたそうです。

山中鹿介は、戦国武将尼子家の家臣で、毛利家が勢力を増していき、尼子氏が衰亡していく中、最後まで主君に忠義を尽くし、尼子氏再興のため、「願わくば、我に七難八苦を与えたまえ」と三日月に祈り、あえて試練の道を選んだとの逸話が残っています。

そんな、山中鹿介の兜が使用されたのは、「竹鶴政孝さん」が日本古来の和の心、義の心を持ち続けながら、様々な苦難、試練に耐え、人々のための純国産のウイスキー造りを目指した日々の、心の支えになっていたからかもしれません。

